

リボンスハウス活動報告

- **スペース**..... 三重大学医学部附属病院
外来棟1階
- **オープン時間**..... 月～金 9:00～16:00
- **利用者**..... 毎月約250名
- **開設時期**..... 2010年 1月
- **組織配置**..... 三重大学がんセンター
患者支援部門
- **運営管理**..... 運営・活動内容は月1回の
患者支援部門会議で検討



2名のスタッフが常駐

当院リボンスハウスの目的

- ・ 気軽に利用できリラックスできる場
- ・ 交流、ピアサポート
- ・ つながりのある場
- ・ がんに関する様々な情報の提供
- ・ がん相談窓口



不安・孤独感の軽減 安らぎ
セルフケア能力の向上
治療や社会生活への積極的な参加
エンパワメント

各種プログラムの開催



タッピングタッチ
月1回



ロザフィ
月1回



頭皮ケア・ウィッグ相談
月9回 8メーカー



手作りパット
(乳房パット作り)
月1回



アロマ教室&勉強会
月2回



リラックスヨガ
月2回



乳がん勉強会 月1回
「検診と治療」
「再建と人工乳房」



平成28年度から開始した
新たなプログラム
・メイク相談会 月1回
・アロマ勉強会

セルフケア能力の向上を目指した
プログラム内容

患者のニーズを取り入れた取り組み

「気軽に読める本も置いて欲しい」

三重県立図書館との連携

県立図書館の書籍300冊を借り入れし、リボンズハウスにて貸出。約20冊/月の利用あり



「自分のがんになり、いろいろなお話を聞きたいと思った」

「第3回がん支え合い交流会in 三重」
(参加者37名)



- ・管理栄養士による講義「食事と栄養について」
- ・お茶会
- ・乳がん患者による語りとピアノ演奏
- ・ウィッグ・下着・人工乳房相談会



リボンズハウス通信の発行

がん相談会

各職種 月1回

- ・がん化学療法看護師
- ・がん看護専門看護師
- ・薬剤師
- ・管理栄養士
- ・医療ソーシャルワーカー



利用者の声

- 気分転換したり何かアクションを起こすことで、**ポジティブに考えられるようになった。**
- 何かを作ることは楽しかったが、**同じメンバーで集るのも楽しくて嬉しかった。**
- 病気になって自宅から出ない生活だったがプログラムに参加するようになって**外に出るようになった。**

**少しでも笑える場に
泣きたいときに泣ける場に**



病院内で行う強みを生かし、これからも患者・家族の支えになれるように、ケアの質を高めていきたいと思えます。